

令和元年度進行管理・評価シート
水戸市 歴史的風致維持向上計画（平成31年 3月26日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 偕楽園公園整備事業	4
3 保和苑整備事業	5
4 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業	6
5 弘道館東側用地整備事業	7
6 千波公園整備事業	8
7 都市景観形成助成事業	9
8 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	10
9 三の丸地区周辺景観整備事業	11
10 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	12
11 民俗芸能実演支援事業	13
12 文化財・まちなみ巡り事業	14
13 観光周遊バス運行事業	15
14 歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	16
15 歴史的風致情報発信推進事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財指定, 調査, 保存活用計画策定等の推進	18
2 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	19
3 文化財に関する普及・啓発の推進	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「水戸城大手門が完成」他	21~23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 水戸市への観光客数の推移	24

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ:計画の推進及び変更に係る課題の調査及び検討
 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会:計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌
 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会:計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「水戸市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催して、計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を行った。なお、「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」及び「水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ」については、今年度は開催しなかった。

【各会議の実施回数】水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (1回)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

水戸市歴史的風致維持向上計画協議会
 (会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長)
 ○第1回:令和元年6月26日開催
 ・平成30年度進行管理・評価シートについて
 ・「水戸市歴史的風致維持向上計画(第2期)」認定の報告



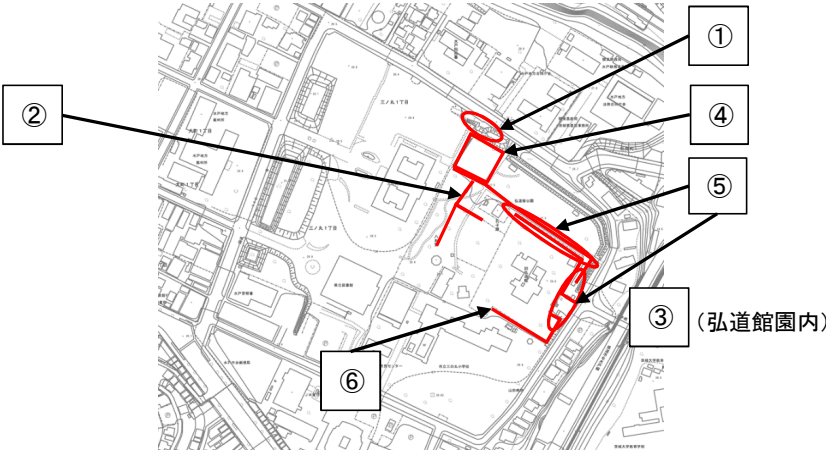
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
水戸市景観計画の活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び水戸市都市景観条例(平成4年度施行)により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(令和元年度届出件数:61件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った(令和元年度許可件数:586件(水戸市全域))。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果あげた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域:水戸市全域)。 ②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他 ③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
弘道館公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和10年度		
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業 景観まちづくり刷新支援事業		
計画に記載している内容	「旧弘道館」保存活用計画書」に基づき、段階的に整備を進めていく。 ①公開方法に関する整備②情報提供に関する整備 ③公園施設の活用に関する整備④藩校時代の諸施設の再現検討		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
弘道館の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和元年度は次に掲げる事業に着手した。			
①北柵御門復元整備 ②防犯施設整備(監視装置N=5箇所、照明施設N=8基) ③案内解説板整備(N=19基) ④園路広場整備(園路L=190m,広場A=1,777㎡) ⑤ライトアップ施設整備 ⑥土塀の耐震改修(L=158m)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
① 整備前  ① 整備後  ④ 整備前  ④ 整備後 			
 ③ (弘道館園内)			

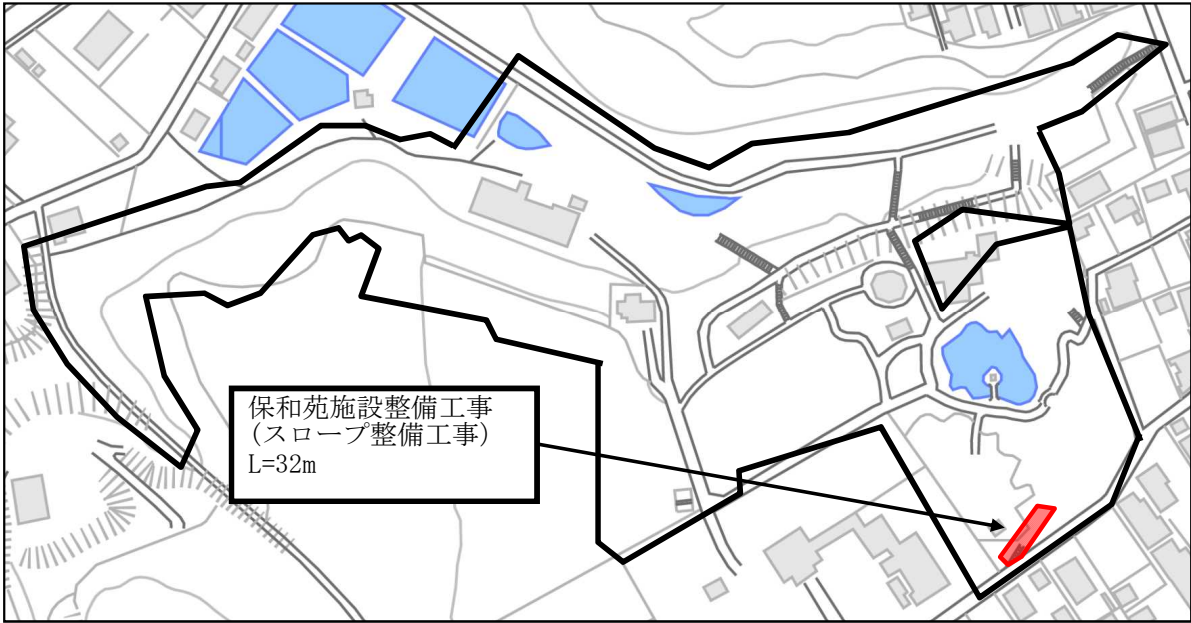
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
偕楽園公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成19年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業 景観まちづくり刷新支援事業		
計画に記載している内容	「偕楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、段階的な整備を進めていく。 ①偕楽園の文化財価値の向上:好文亭の耐震化など歴史的建造物の整備、梅の後継木育成、景観整備、本来の歩行導線整備など ②利用者の満足度向上:ユニバーサルデザインをふまえた公開ルートの整備、わかりやすい解説板整備、トイレ洋式化、南崖のライトアップなど		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
偕楽園の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和元年度は次に掲げる事業に着手した。 ①板塀整備(L=115m) ⑤偕楽園料金所整備(N=4箇所) ②ライトアップ整備 ⑥案内板解説板整備(N=18基) ③好文亭耐震補強整備 ⑦園路改修(L=160m) ④好文亭襖絵修復(N=34面)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
① 改修前 ① 改修後 ⑤ 整備前 ⑤ 整備後 (偕楽園園内)			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
保和苑整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)		
計画に記載している内容	園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めていく。 ①西側の修景施設整備: 植栽と散策路、及び休憩施設の配置 ②園路の整備: バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度においては、樹木伐採等景観環境の整備や、バリアフリーに配慮したスロープの設置工事(L=32m)を行った。(令和2年度完成予定)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
施工箇所 施工前		施工中 (R2年度完成予定)	
			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	市民との協働により、水戸城の復元・整備を行う。 ①水戸城大手門の復元②二の丸角櫓の復元 ③大手門と二の丸角櫓周辺の土塀の整備④二の丸角櫓へのアプローチの整備		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大手門:令和元年9月に本体工事完了, 令和2年1月に外構工事完了, 同年2月4日から供用(通行)開始 ②二の丸角櫓:令和元年6月に棟上げ, 令和2年3月に瓦葺き完了, 現在施工中 ③土塀:令和元年8月に地覆石設置, 令和2年3月に板張り完了, 現在施工中 ④アプローチ:隣接する茨城大学附属小学校, 茨城県立水戸第三高校等との経路確定のための協議を7回実施			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		二の丸角櫓へのアプローチの整備は, 学校敷地間に設けるため, 児童・生徒の安全の確保が最優先となる。監視カメラの設置などの対策を, 学校の考えを聴取しながら講じていく。	

状況を示す写真や資料等

①復元整備工事が完了した大手門



完成後に開催した大手門2階特別公開
(2日間でおおよそ1,000人の来客)

②二の丸角櫓復元工事の進捗

令和元年6月:上棟式直前の様



令和2年3月:瓦葺き完了直前の様



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
弘道館東側用地整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	弘道館をはじめとする歴史的資源を訪れる観光客や市民の利便性の向上を目的とし、弘道館東側用地整備基本計画に基づく整備を行う。周辺の歴史的景観と調和した整備を図りながら、下記の機能を持たせた土地利用を行う。 ①歴史にまつわるイベント等に活用できる広場の整備 ②憩いややすらぎを感じることができる空間の整備		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
弘道館東側用地整備基本計画に基づき、令和元年度は主に以下の工事及び事業を実施した。 ・弘道館東側用地広場等整備工事 芝生広場1,400㎡整備、駐車場450㎡整備、便益施設周辺広場:419㎡整備 ・弘道館東側用地便益施設整備工事 多目的トイレ(オストメイト対応トイレ):1基設置、男子トイレ:小便器3基、大便器2基設置、女子トイレ:3基設置 ・弘道館東側用地法面樹木等剪定 実施本数:基本剪定14本、竹林剪定29本 ・弘道館東側用地法面除草 実施面積700㎡×2回 ・弘道館東側用地法面樹木伐採 実施本数:2本			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	広場の整備については完了した。今後は広場の管理や、歴史にまつわるイベント等による広場の活用に努める。		

状況を示す写真や資料等



整備前



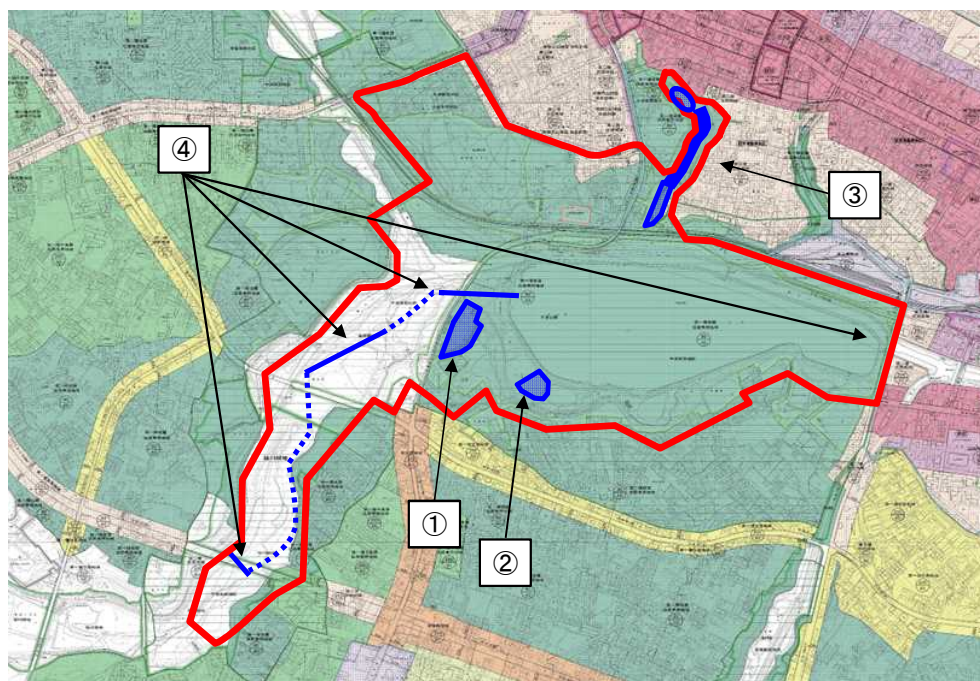
整備後

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
千波公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	偕楽園や隣接する桜川緑地、沢渡川緑地、紀州堀緑地、逆川緑地を含めた大規模公園として整備を行い、景観形成を図る。 ①千波公園の各広場等の整備②千波公園拡張部の整備③千波湖の水質浄化		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観を損なうとして多くの市民より改善の声が挙がっていたボウリング場跡地の取得、その他公園内の施設整備、湖の水質浄化のための導水事業により、千波湖周辺の環境整備を行った。具体的な施工箇所は以下の通り。 ①ボウリング場(レイクサイドボウル)跡地取得 ②千波公園ふれあい広場整備 ③千波公園西の谷整備 ④千波湖浄化施設整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後千波公園においてはパークPFI事業等さらなる賑わいを創出が課題となっており、歴史的風致との調和を図りつつ園内施設や千波湖の水質改善に努め、課題に取り組む。		

状況を示す写真や資料等



施工前

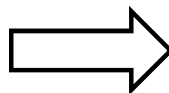
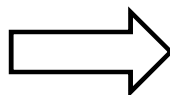
①



②

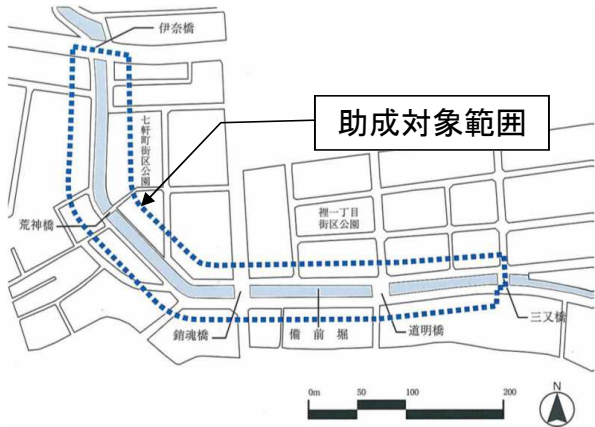
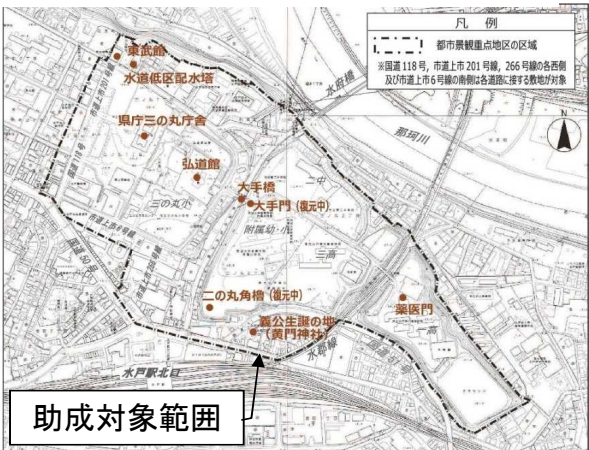


施工後



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
都市景観形成助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成15年度～令和10年度		
支援事業名	水戸市都市景観形成補助金		
計画に記載している内容	都市景観重点地区(備前堀沿道地区／弘道館・水戸城跡周辺地区)における、優れた都市景観づくりに寄与する下記のような行為に対して補助金を交付し、地区の歴史性などと調和した景観づくりを推進していく。 ①建築物等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち外観に係るもの ②門、塀又は擁壁、石垣等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち、外構に係るもの ③オープンスペースの整備に係るもの ④建築等の外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更に係るもの 等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
水戸市都市景観形成補助金交付要項を改定し、弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象地域とするとともに、交付対象となる事業の範囲を拡大した(外観変更は一体的ではなく部分的なものも認める、新たに植栽を補助対象とするなど)。 ・備前堀沿道地区:相談1件, 申請0件 ・弘道館・水戸城跡周辺地区:相談0件, 申請0件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新たに補助対象地域とした弘道館・水戸城跡周辺地区では、事業の認知度が高くはないと思われるため、地域住民に制度の活用を積極的に働きかけ、歴史的景観を活かした都市景観の形成や維持向上に努める。		
状況を示す写真や資料等			
◆水戸市都市景観形成補助金事業対象範囲 ○備前堀沿道地区  ○弘道館・水戸城跡周辺地区 			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)		
計画に記載している内容	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確保し、歴史的な景観に配慮した整備を行うことで、水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
特定業務(実施設計・施工)代行者との基本協定締結			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		最終的な施設計画が作成できていない状況である。次年度以降も工事着手に向けて施工者(組合)と調整を続けていく。	
状況を示す写真や資料等			
・施工区域及び現況写真			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
三の丸地区周辺景観整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	三の丸地区周辺の電線地中化や道路の拡幅、車道・歩道の再整備と、あわせて沿道周辺の広場の整備などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		水戸市第6次総合計画の3か年実施計画の策定において、事業内容の検討を進める。	
状況を示す写真や資料等			
第1期計画において実施した北三の丸通り(都市計画道路3・4・14号栄町若宮線)の道路改良 整備前  ➡ 整備後   ➡ 			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、下記の活動に対し補助金を交付する。 ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 ③大串のささらばやし伝承保存及び後継者育成事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
5団体(大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会)に対し補助金を交付した。 ・交付金額:560千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 大串ささらばやし保存会  大野みろくばやし保存会  杖友会(田谷の棒術保存会)  若鷺会  向井町散々楽保存会			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
民俗芸能実演支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成3年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市に伝わる民俗芸能を幅広く市民に周知するため、市主催のイベントを中心に、実演の機会を提供している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
風土記の丘ふるさとまつりにおいて実演を支援した。令和2年度開催予定の市郷土民俗芸能のつどいに向けて各団体との調整を行った。 茨城県郷土民俗芸能の集いへの各団体の参加を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		民俗芸能継承者の高齢化等により、活動の継承や発表の場の確保の面で課題が生じていることから、風土記の丘ふるさとまつりや水戸市郷土民俗芸能のつどい等、各地域内のイベントへの参加を促し、伝統芸能の伝承、公開に努める。	
状況を示す写真や資料等			
○風土記の丘ふるさとまつり(11月10日、会場:大串貝塚)における民俗芸能実演の様子			
		記録作成等の措置を講ずべき 国選択無形民俗文化財 「大串ささらばやし」	
		記録作成等の措置を講ずべき 国選択無形民俗文化財 「大野みろくばやし」	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財・まちなみ巡り事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和52年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市内や本市ゆかりの場所にある文化財やまちなみを訪問する水戸郷土かるためぐりや史跡めぐりを実施し、本市の歴史や文化などへの理解を深める機会を提供していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
水戸郷土かるためぐり: 令和元年8月, 市内の小学生親子80名を対象に, 弘道館や常磐神社, 大串貝塚などを巡った。 史跡めぐり: 令和元年10月, 市内80名を対象に, 小田城や水戸城など県内の城跡を巡った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		特にかかるためぐりについては, 郷土かるたに読まれている市内の歴史的資源に数限りがあり, 行程に偏りが生じやすい。いかに市民の興味関心を惹くような事業にしていけるか, 検討の余地があるため, 講師とも協議を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
○水戸郷土かるためぐりの様子			
			
○史跡めぐりの様子			
			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
観光周遊バス運行事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	梅まつりなど、花の名所で開催されるイベントに合わせて観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は以下のとおり、観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する取組を行った。 ○桜の名所編 期日:平成31年4月6日, 7日 乗客数:575名 主な周遊施設:弘道館, 水戸城跡 ○水戸のGW満喫編 期日:令和元年5月5日, 6日 乗客数:671名 主な周遊施設:偕楽園 ○あじさいの名所編 期日:令和元年6月22日, 23日 乗客数:728名 主な周遊施設:偕楽園, 保和苑, 水戸八幡宮 ○いきいき茨城ゆめ国体編 期日:令和元年9月28日, 29日, 10月5日, 6日 乗客数:196名 主な周遊施設:偕楽園, 弘道館, 水戸城跡 ○秋の水戸満喫編 期日:令和元年11月10日, 16日 乗客数:695名 主な周遊施設:偕楽園, 弘道館, 水戸城跡 ※新型コロナウイルス感染拡大により、水戸の梅まつりの関連イベントが中止となり、令和2年2月29日, 3月1日, 7日, 8日に予定していた水戸の梅まつり編は中止となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



弘道館正門前に停車する観光周遊バス

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致に関連した祭り開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成3年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	梅まつり(偕楽園周辺)や水戸黄門まつり(東照宮周辺)など、歴史的風致内で実施されるイベントの開催にあたり、補助金を交付し、企画・実施からPRまで幅広い支援を行うことで、市民や観光客の歴史的風致に対する興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる様々な活動への参加を促進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・水戸のあじさいまつりの開催 補助金交付金額:1,700千円 期間:令和元年6月9日(日)～6月30日(日), 会場:保和苑及び周辺史跡, 観客数:102,000人 主なイベント:野点茶会, 写真撮影大会 等 ・水戸黄門まつりの開催 補助金交付金額:44,000千円 期間:令和元年7月20日(土), 8月3日(土), 4日(日), 会場:千波湖及び国道50号(水戸駅北口～大工町交差点間) 観客数:700,000人, 主なイベント:花火, 神輿渡御, 山車巡行, 提灯行列 等 ・水戸の梅まつりの開催 補助金交付金額:13,000千円 期間:令和2年2月15日(土)～3月29日(日), 会場:偕楽園・弘道館, 観客数:194,200人 主なイベント:野点茶会, 武道演武 等			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今年度の梅まつりは、新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、関連イベントが軒並み中止となったため、来場者数は例年から大きく減少した。次回以降も感染症リスクは存在するため、発生した際の対応策を、主催団体と協議していく。	
状況を示す写真や資料等			
第59回水戸黄門まつり 提灯行列(第2夜・8月3日) 			
第124回水戸の梅まつり 偕楽園での野点茶会(2月23日) 			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致情報発信推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市広報誌やSNSを活用した文化財や関連行事に関する情報発信、さらには文化遺産説明板の設置を行い、市民の歴史・文化に対する理解を深めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市広報誌・SNS・市HP:水戸市地域文化財募集記事, 民俗芸能団体メンバー募集記事, 水戸城歴史的建造物復元工事の進捗記事, 市指定文化財の新指定に関する記事などを掲載
文化遺産説明板:先賢志士指導標柱2基(修繕)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市の主催する事業を優先的に情報発信しており、歴史的風致に関わるイベントを網羅できていないように考える。ひとつでも多くの情報を拾い上げられるよう、広報担当課や観光部門との相互の情報提供の仕組みを構築する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○市広報誌「広報みと」令和2年1月1日号より特集記事「水戸城大手門完成」



○先賢志士指導標柱「鮎澤伊大夫」の修繕

修繕前



修繕後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和元年度水戸市指定文化財】

①小泉家文書

指定年月日：令和2年2月10日

【令和元年度に実施した文化財の調査】

①石河明善日記（市指定文化財）の翻刻（18回）、関連講座の開催（2回）

②市指定天然記念物ヒカリモ（備前町）の調査（2回）

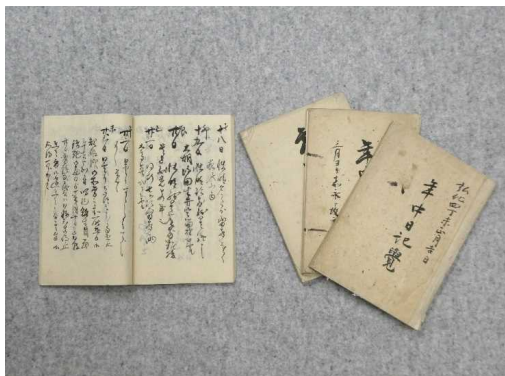
③国指定史跡台渡里官衙遺跡群の発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

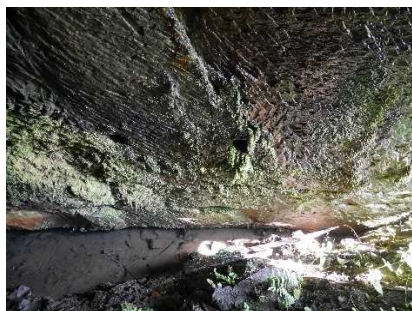
☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和元年度 市指定文化財「小泉家文書」より
商家の日記「年中日記覚」

石河明善日記の調査

文化財の調査



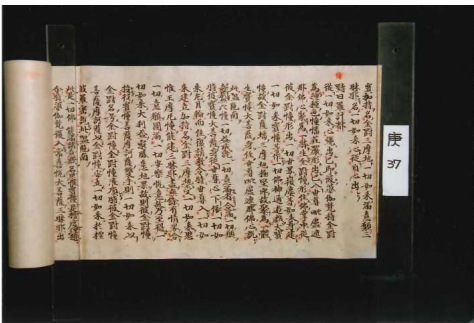
ヒカリモの調査



台渡里官衙遺跡群発掘調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の修理、整備、防災事業の推進	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】 文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】 防災体制、設備の整備を図るとともに、防災訓練や啓発事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【文化財の修理事業】 ○六地藏寺典籍文書保存修理事業 昭和48年から、六地藏寺に伝わる六地藏寺所蔵典籍・文書（県指定文化財）の保存修理を順次実施し、令和元年度は、「兵法大灌頂」など計24点の文書等の裏打ち補修を実施した。 【文化財の防災事業】 ○文化財防火デーの実施 （令和2年1月24日、於：八幡宮、参加者56名） 八幡宮及び近隣住民の協力のもと、県指定文化財「黒韋肩浅葱筋兜」他9件が管理されている八幡宮境内からの出火を想定した防災訓練を実施した。また、文化財の日常的な見回り等の防犯体制の保持強化について、文化財所有者や近隣住民に対して注意喚起を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【文化財の修理事業】	【文化財の防災事業】	
修理前  ↓ 修理後  六地藏寺典籍文書保存修理事業	 文化財防火デー	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の推進		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【令和元年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】 ①平成31年4月1日～15日・令和元年8月1日～15日・9月27日～10月8日・10月11日～14日・12月20日～令和2年1月14日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔 ②令和元年5月25日 日本遺産4周年イベント 場所:弘道館 参加者:30人 ③令和元年7月7日 夏の昆虫観察会 場所:逆川緑地公園 参加者:21人 ④令和元年7月7日・11月17日 水戸城二の丸角櫓復元及び土塀整備工事現場説明会 場所:水戸城二の丸角櫓 参加者:326人 ⑤令和元年7月20日・9月7日 かやぶき体験教室 場所:埋蔵文化財センター 参加者:77人 ⑥令和元年7月20日～8月25日 企画展 夏休み子どもミュージアム「水戸藩の学校」 場所:博物館 来館者:1,890人 ⑦令和元年7月28日・8月18日・11月10日 勾玉をつくろう 場所:埋蔵文化財センター 参加者:260人 ⑧令和元年8月1日・9日 水戸郷土かるためぐり 場所:弘道館ほか6か所 参加者:80人 ⑨令和元年8月2日・15日 び～すプロジェクト「わたしは戦争を忘れない」 場所:県立歴史館 参加者:224人 ⑩令和元年8月11日 び～すプロジェクト紙芝居「茂木貞夫物語」上演会 場所:博物館 参加者:59人 ⑪令和元年8月17日 ダイダラボウ大昔たいいけん隊 場所:埋蔵文化財センター 参加者:82人 ⑫令和元年8月25日 水戸城大手門復元整備工事現場見学会 場所:水戸城大手門 参加者:121人 ⑬令和元年10月9日・23日 史跡めぐり 場所:小田城(つくば市)、小幡城(茨城県)ほか2か所 参加者:80人 ⑭令和元年10月20日～11月24日 特別展「大正の漫画家 山田みのる」 場所:博物館 来館者:1,164人 ⑮令和元年11月2日～令和2年2月24日 企画展「巨人たちの足跡～市制施行から現在、水戸の考古学史総まくり～」 場所:埋蔵文化財センター 来館者:2,650人 ⑯令和元年11月3日・10日 みと歴史講座『石河明善日記』関連連続講座 場所:博物館 参加者:55人 ⑰令和元年11月10日 風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来場者:6,350人 ⑱令和元年12月7日 自然観察会 冬芽観察会 場所:逆川緑地公園 参加者:13人 ⑲令和元年12月8日～令和2年1月26日 水戸郷土かるた地区大会 場所:市内各所 参加者:1,498人 ⑳令和2年2月4日 水戸城大手門完成記念式典 場所:三の丸小学校、水戸城大手門 参加者:400人 ㉑令和2年2月8日・9日 水戸城大手門完成記念事業「大手門特別公開・熱気球搭乗体験イベント」 場所:水戸城大手門、三の丸小学校 参加者:1,200人 ㉒令和2年2月9日～3月1日 特別展「水戸の大地の成り立ち」 場所:博物館 来館者:4,930人 ㉓令和2年2月15日 水戸郷土かるた中央大会 場所:水戸市総合運動公園 参加者:330人			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、本市の歴史的資源について、地域に向けた積極的な発信に努めるとともに、本市の魅力向上に向けた普及・啓発事業を推進する。		
状況を示す写真や資料等			
 ①文化財ライトアップ	 ⑤かやぶき体験教室	 ⑥企画展 夏休み子どもミュージアム「水戸藩の学校」	
 ⑦勾玉をつくろう	 ⑧水戸郷土かるためぐり	 ⑪ダイダラボウ大昔たいいけん隊	
 ⑬史跡めぐり	 ⑭特別展 「大正の漫画家 山田みのる」	 ⑮企画展「巨人たちの足跡～市制施行から現在、水戸の考古学史総まくり～」	
 ⑰風土記の丘ふるさとまつり	 ⑲特別展「水戸の大地の成り立ち」	 ⑳水戸郷土かるた中央大会	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和元年度
		掲載紙等	
偕楽園有料化 さらなる魅力の向上を（偕楽園）	平成31年4月4日・26日	茨城新聞・東京新聞 他	
光圀めでた子孫も（六地藏寺シダレ桜）	平成31年4月6日	茨城新聞	
藩校の歴史守り伝える（弘道館）	平成31年4月14日	読売新聞	
水戸の梅まつり観客数1300人増（偕楽園）	平成31年4月23日・25日	毎日新聞・日経新聞	
大手門復元、来年1月、4カ月遅れ（大手門）	平成31年4月26日	茨城新聞	
新時代へのメッセージ残す、弘道館で改元イベント（弘道館）	平成31年4月27日	産経新聞	
テーマ展「掛け軸や屏風40点」（歴史館）	令和元年5月1日	茨城新聞	
来年2月4日に大手門完成式典（大手門）	令和元年5月3日	茨城新聞	
改元の記憶50年後へ 修復の和紙に書く催し（偕楽園・好文亭）	令和元年5月3日	朝日新聞	
「花ざかりー描かれた春夏秋冬」万葉集研究を進めた光圀（歴史館）	令和元年5月5日	産経新聞	
偕楽園エリア魅力発掘、星野リゾート策定（偕楽園）	令和元年6月13日	茨城新聞	
盗難・損壊の偕楽園公園（偕楽園）	令和元年6月24日	茨城新聞	
周遊観光人力車で	令和元年6月30日	茨城新聞	
復元中 水戸城の角櫓を公開 工事現場に市民ら100人（角櫓）	令和元年7月8日	朝日新聞・朝日新聞	
夏祭りにぎわう（水戸東照宮）	令和元年7月17日	茨城新聞	
群生ヒカリモ 輝き再び	令和元年7月19日	読売新聞	
鮮やか大輪、水戸彩る（黄門まつり）	令和元年7月21日	茨城新聞	
夏休み企画展 水戸藩の教育高水準（市立博物館）	令和元年7月24日	茨城新聞・NHK	
水戸空襲語り継ぐ（弘道館）	令和元年8月4日	茨城新聞	
水戸空襲三階櫓焼失に虚無感（水戸城）	令和元年8月9日	茨城新聞	
古代の知恵や技術学ぶ（埋文センター）	令和元年8月19日	毎日新聞	
水戸城大手門もうすぐ復元 現場見学会に市民が感動（大手門）	令和元年8月26日	東京新聞	
震災契機に出品増加傾向 古文書、ネットで散逸	令和元年9月6日	茨城新聞	
台風15号暴風雨被害の爪痕（偕楽園 左近の桜）	令和元年9月10日	茨城新聞	
左近の桜 再生不可能（偕楽園 左近の桜）	令和元年10月1日	茨城新聞	
庭園ツアーで観光客を県内へ（偕楽園）	令和元年10月3日	東京新聞	
水戸の旧町名手軽に検索 図書館で資料をデジタル化公開（市立図書館）	令和元年10月6日	産経新聞	
光圀公の足跡をたどる 漫遊ウォーク	令和元年10月8日	茨城新聞	
偕楽園あすから有料化	令和元年10月31日	茨城・読売新聞 他	
「大名庭園サミット」水戸で開催	令和元年11月11日	NHK・茨城新聞	
左近の桜 再植樹へ（偕楽園 左近の桜）	令和元年11月13日	毎日・読売・朝日新聞 他	
防火設備 緊急点検へ（首里城火災）	令和元年11月14日	茨城新聞	
千波湖に「リング橋」 偕楽園魅力向上計画	令和元年11月21日	茨城・読売新聞 他	
水戸城二の丸角櫓復元作業を見学	令和元年11月21日	茨城新聞	
水戸城二の丸角櫓復元へ児童が壁下塗り体験	令和元年11月27日	読売新聞	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
北柵御門を復元（弘道館）		令和元年12月11日	日経・茨城新聞
水戸城大手門 2 月完成 熱気球から見学参加募集		令和元年12月17日	読売新聞
ご老公受験生の味方（黄門神社）		令和2年1月6日	茨城新聞
文化財 火災から守れ（文化財防火デー）		令和2年1月28日	茨城新聞
梅まつり 3 箇所に臨時券売所		令和2年1月29日	茨城新聞
水戸城大手門が完成 本日正午より開通		令和2年2月4日	茨城・毎日・産経新聞 他
熱気球に乗って水戸城を楽しむ 体験イベントに200人		令和2年2月11日	毎日新聞
小泉家資料 文化財に		令和2年2月11日	茨城・読売新聞
水戸140億年史 大地の成り立ち 鉄隕石の美質に感嘆		令和2年2月12日	東京・茨城・読売新聞
特別展 ー800年の歴史と文化ー		令和2年2月14日	東京・朝日新聞
偕楽園の集客策、花開くか 有料化後初の梅まつり		令和2年2月15日	東京・日経・読売新聞 他
日本遺産情報拠点に 水戸市二の丸展示館刷新		令和2年2月18日	茨城新聞
水戸の梅まつり入場者大幅減		令和2年2月19日	東京・朝日・読売新聞 他
梅まつり全イベント中止 地域経済に痛手		令和2年2月26日	毎日・茨城新聞
威風堂々 水戸の新名所 水戸城大手門		令和2年3月12日	よみうりタウンニュース
「保和苑」地域文化財に 住民ら長期に景観保全		令和2年3月19日	茨城新聞
屋根施工会社 徳川ミュージアムに水戸城大手門鬼瓦を寄贈		令和2年3月21日	茨城新聞
夕闇に浮かぶ大手門 ライトアップ		令和2年3月21日	茨城新聞
梅まつり 来場者減少 集客イベント中止		令和2年3月31日	読売新聞
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業に関連する報道が多く見られた。工程の進捗状況を市HPを通して頻繁に情報公開していたため、報道関係者の目にも留まりやすかったものと推測される。また、現場説明会や完成記念式典などのイベントの際は、報道関係者への情報提供・取材の呼びかけを行ったことが効果的であったと考えられる。完成後の大手門現地では、「新聞を見て足を運んだ」という声が聞かれ、また市内外問わず「寄附金はまだやっているか」という問い合わせが多数あり、報道の影響を実感した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			

水戸城 大手門が完成

本日正午より開通



水戸城大手門は、江戸時代後期の建築家・小泉家によって設計された。この大手門は、水戸城の主要な入口であり、その雄大な姿は、水戸城の威厳を象徴していた。現在は、水戸城の復元事業の一環として、この大手門が再建された。この大手門は、江戸時代後期の建築様式を忠実に再現しており、その完成は、水戸城の歴史を伝える貴重な資料となる。この大手門は、水戸城の主要な入口であり、その雄大な姿は、水戸城の威厳を象徴していた。現在は、水戸城の復元事業の一環として、この大手門が再建された。この大手門は、江戸時代後期の建築様式を忠実に再現しており、その完成は、水戸城の歴史を伝える貴重な資料となる。

水戸城大手門とは
水戸城の正門である、最も雄大な門である。江戸時代後期の建築家・小泉家によって設計された。この大手門は、水戸城の主要な入口であり、その雄大な姿は、水戸城の威厳を象徴していた。現在は、水戸城の復元事業の一環として、この大手門が再建された。この大手門は、江戸時代後期の建築様式を忠実に再現しており、その完成は、水戸城の歴史を伝える貴重な資料となる。

水戸城跡とは
水戸城は、江戸時代後期の建築家・小泉家によって設計された。この水戸城は、水戸城の主要な入口であり、その雄大な姿は、水戸城の威厳を象徴していた。現在は、水戸城の復元事業の一環として、この水戸城が再建された。この水戸城は、江戸時代後期の建築様式を忠実に再現しており、その完成は、水戸城の歴史を伝える貴重な資料となる。

項目	内容
構造	木造2層建て
敷地面積	150.22㎡
延床面積	112.73㎡
高さ	17.18m
長さ	6.73m
幅	15.34m
外装	1階：白漆 2階：黒漆、木下地、漆喰塗り
内装	入母屋造、本瓦葺き
開口部	1階：門、障子 2階：格子窓

1 基礎工事
基礎工事の進捗状況を示す写真。基礎の掘削とコンクリートの打設が行われている。

2 木工
木工の進捗状況を示す写真。木材の加工と組み立てが行われている。

3 屋根工事（土間部分）
屋根工事の進捗状況を示す写真。土間の基礎と屋根の骨組みが確認できる。

4 左官工事
左官工事の進捗状況を示す写真。壁の土塗りや灰塗りが行われている。

茨城新聞
「水戸城大手門が完成」
令和2年2月4日

小泉家資料 文化財に

水戸市教委

水戸市教育委員会は10日、江戸時代後期の商家「小泉家」が記録した日記や書状などの遺書など、歴史的資料の30点を市指定文化財に加えた。水戸空襲により多くが焼失した中で、当時の商人の動向や庶民の様子がうかがえる貴重な資料として高く評価された。今回の追加により、市指定文化財は100件となった。

このほか、文書には金銭貸し借りの証文や水戸城下祭の記録、ペリー来航に関する資料もあり、小泉家が入手した情報が読み取れる。同審議会によると、当時のこのように資料は045年の水戸空襲で多くが焼失。今回指定された証文や文書は、同市広町にあって小泉家の蔵が戦火を免れたため残った。このため、価値は非常に高いとされている。

同審議会の田中正彦委員は、両家のため、両家がまだ手元に残っていることがうかがえるだけでなく、庶民がうろたえている様子なども垣間見える（この資料は「小泉家資料」として保存されている）と評価した。（前掲地）

江戸期 大地震や黒船伝える
江戸期 大地震や黒船伝える

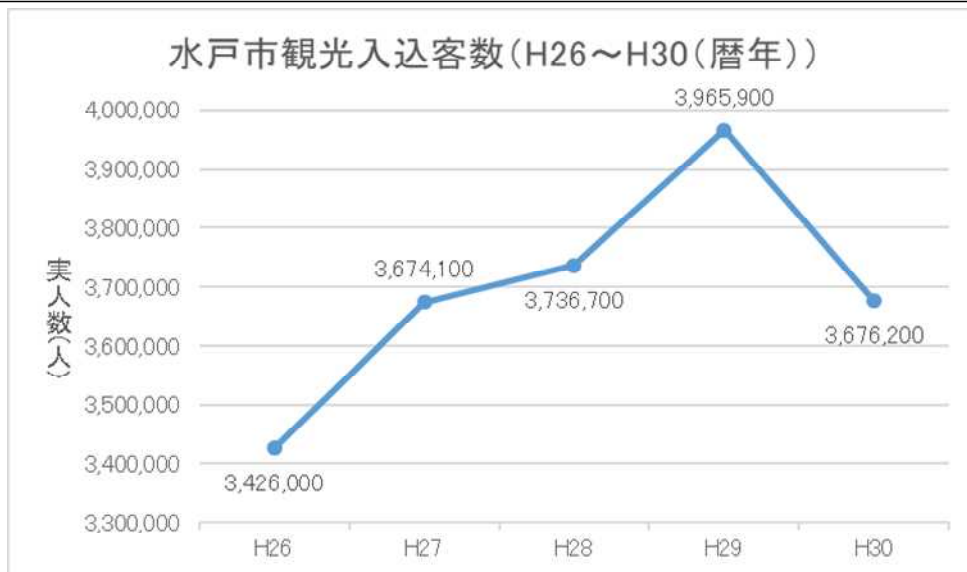
小泉家の日記などについて説明する市文化財保護審議会のメンバー。水戸市中央

茨城新聞
「小泉家資料文化財に」
令和2年2月11日

※茨城新聞より転載許可済

項目		評価対象年度	令和元年度
水戸市への観光客数の推移			
計画に記載している内容			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
平成29年までの数年間、本市の観光入込客数は増加傾向であったが、平成30年には若干減少となった。大きく数値を減らした月を見ていくと、2月の天候不順により水戸の梅まつり(偕楽園、弘道館)への来訪客が減少したこと、9月には台風24号の影響により水戸まちなかフェスティバル(東照宮近辺)が中止となり出店者や来訪客が減少したことが主な理由と考えられる。(令和元年度末時点での最新情報、「平成30年観光客動態調査(茨城県)」を基に評価) 他方で、本市の歴史的風致を構成する代表的な歴史的資産である、「弘道館」及び「偕楽園」については、平成30年度までは概ね横ばいと言える推移であったが、今年度は大きく減少した。要因としては、令和2年初頭から発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休業、外出自粛の影響などが挙げられる。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		新型コロナウイルスに関しては、現時点で収束していないので、次年度におけるイベントの開催は、参加人数の制限や会場レイアウトの工夫などを行い、感染防止対策を十分に講じていく。 水戸城大手門を及び次年度に完成する水戸城二の丸角櫓については、完成で終了ではなく、その魅力を市内外に継続的に発信していく必要がある。	

状況を示す写真や資料等



※茨城県「平成30年観光客動態調査」を基に作成



※水戸市作成

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和2年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和2年7月1日(水) 午後1時30分～午後3時 (会場: 水戸市役所3階 会議室304)	
(コメントの概要)	
1 進捗評価シートについて (1) 弘道館公園整備事業について(3頁) ライトアップ等の配線が露出している箇所がある。ライトアップは観光客の集客に必要な場合もあり、文化庁からも文化財の活用が推進されているが、観光資源としての活用と、文化財としての価値や景観の保持の両面を検討して実施していただきたい。 (2) 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業について(6頁) 完成した大手門、工事中の二の丸角櫓・土塀ともによく整備されている。周辺の土塁については、土塁の保護を図りながら整備を進めていただきたい。 (3) 都市景観形成助成事業について(9頁) 備前堀沿道地区に加え、昨年度末より弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象となった。住民への周知を進め、歴史的景観を意識した取組みをより推進できるようにしていただきたい。 (4) 効果・影響等に関する報道(21頁) 報道された件数は多いものの、新聞に偏っている傾向が見受けられる。テレビなど他の報道機関にも取り上げてもらえるよう努めていただきたい。	
	
協議会の開催状況	
(今後の対応方針) ・本市ならではの歴史と風格の感じられるまちづくりを目指し、県や関係機関との連携を密にし、計画内事業を推進していく。	